

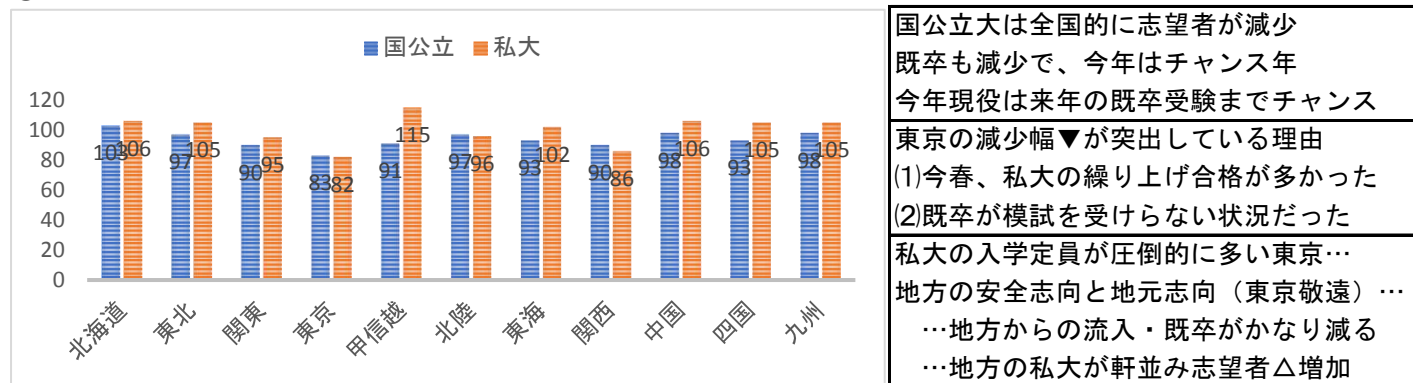
小金高校 進路指導室だより 11月号

令和2(2020)年11月16日
小金高校 進路指導部

(1) 第2回全統共通テスト模試の志望動向

入試年度	受験者総数	現役生	既卒生	国公立志望	私大志望	文系志望	理系志望
2020入試	398,054	352,980	45,074	248,928	358,926	217,588	179,372
2021入試	365,249	343,011	22,238	230,705	325,523	198,826	165,656
対前年度増減	▼8%	▼3%	▼51%	▼7%	▼9%	▼9%	▼8%

- 既卒生の大幅減＝公開会場がなかったため(現役生は学校受験)、共通テストには85,455人(▼2万人)が志願
- 人口減少 2017→2021で18歳人口は▼6万人、大学志願者数も5万人▼ 2020からは既卒生も減▼に転じる
- 駿台やベネッセでも言われているコト ①18歳人口減少 ④既卒受験生の減少 ⑤定員は減らず → **入試は易化**
- 下表 地区別の対前年度志望者指数 全体では、国公立志望が93、私大志望が89(東京▼・地方△)



国公立大は全国的に志望者が減少
既卒も減少で、今年はチャンス年
今年現役は来年の既卒受験までチャンス
東京の減少幅▼が突出している理由
(1)今春、私大の繰り上げ合格が多かった
(2)既卒が模試を受けられない状況だった
私大の入学定員が圧倒的に多い東京…
地方の安全志向と地元志向(東京敬遠)…
…地方からの流入・既卒がかなり減る
…地方の私大が軒並み志望者△増加

(2) 第2回全統共通テスト模試 私大 志望者が増えた△地方 大幅に減っている▼東京

△今年、志望者が増加△ 地方の比較的小規模な私大…今までは、地元生もあまり志望校記入しなかった大学

北海道	岩手	宮城	茨城	栃木	山梨	石川	静岡	愛知	岡山	広島	徳島	福岡	熊本		
札幌学院	藤女子	盛岡	東北福祉	常磐	白鷲	山梨学院	金沢学院	常葉	東海学園	中部	岡山理科	広島国際	徳島文理	九州産業	熊本学園
126	101	102	114	114	112	122	137	102	105	105	108	111	120	121	113

▼今年、志望者が大幅に減少▼ 東京の難関・有名・ブランド私大 既卒(学力は上)減り、挑戦層(力は拮抗)も減り

早稲田	慶応	上智	学習院	青学	中央	法政	明治	立教	成蹊	成城	武蔵	日本	東洋	駒沢	専修
45,749	21,682	15,613	10,567	28,214	26,283	33,972	43,740	30,992	9,493	6,066	4,145	38,334	32,801	15,843	14,037
75	81	76	90	77	89	82	82	82	75	69	76	87	82	76	77

学習院は共テ利用型(新規)分あり、一般方式自体は72と大幅▼ 上位校は「一般入試定員」をきちんと残している
私大志望者は当然大チャンスだが、国公立大志望者も強気で併願できる年。第一志望、第二第三併願は最後まで

(3) 第2回全統共通テスト模試 国公立大学 前期日程の志望者数と対前年度指数

前年度と志望者数が同じであれば「指数」は100、+5%増なら「指数」は105、-10%減なら「指数」は90です

東北	筑波	千葉	東大	外大	電通	一橋	学芸	東工	農工	都立	横国	埼玉	宇都宮	茨城	群馬
5,550	6,162	6,322	5,391	1,581	715	2,071	1,623	2,471	1,288	6,220	3,952	3,615	1,489	2,642	1,807
90	85	92	86	82	87	82	75	86	81	83	82	90	97	96	99

私大と同じで東京が▼ 地方からの東京流入が見込めない+首都圏自体の人口減と既卒減 でも定員は変わらず
茨城、群馬、宇都宮のほか、新潟(96)、富山(94)、山梨(91)、静岡(94)などは、減少幅少ないが難化はしていない

(4) 全統偏差値で考える受験校の選定(全統記述偏差値が57.5の場合の例)

☆国公立大学志望者 志望校や受験・進学に対するスタンス・考えにより、対応は人それぞれ異なってくるので注意

☆私立大学志望者 私大入試の構造上、たくさん受けた方が合格可能性は上がるが、日程や手続き日の問題あり

国公立大志望者				例:偏差値が57.5~59.9の場合の併願例			私大専願者		
強気な国公立		妥当に国公立		目安	偏差値帯	合格可能性	目安	個別日程	共テ利用
前期	併願私大 2~3	前期	併願私大 2~3	目標校	65.0~67.4	E判定 20%以下	目標校	2~3	1~2
					62.5~64.9				
後期	併願私大 1~2	後期	併願私大 2~3	相応校	60.0~62.4	D判定 35%	相応校	2~3	1~2
					57.5~59.9				
—	併願私大 1~2	後期	併願私大 2~3	安全校	55.0~57.4	B判定 65%	安全校	1~2	2~3
					52.5~54.9				
				50.0~52.4		A判定 80%以上			

国公立→2次(記述)の伸びしろ見込める・現役はまだ伸びる…Cなら志望校を目指す、Dも状況次第で合格あり得る
私大個別→CやDでも(Eであっても)対策次第で合格できる 私大共テ(事前出願)→B以上判定ないと合格は厳しい
※過去問をやってみて「相性」のようなものもあるし、「一発勝負の運不運」もある。「下剋上」罷り通るのが大学受験
※当たり前ですが、「目指さなければ受けない」、「受けなければ受からない」。出願や受験は冷静と情熱の狭間